

令和4年度 第4回
金沢市DX会議



- ✓ 金沢市デジタル戦略の進捗
- ✓ 金沢市DXアクションプランの策定
- ✓ 意見交換

「誰ひとり取り残さないデジタル戦略都市・金沢」

を基本理念に、2年間で集中的に行政DXに取り組み、

148施策を推進（年度末までに全施策達成予定）

主な施策



今後は **社会全体へデジタルの効果を波及**させる

金沢市デジタル戦略の進捗

KPI達成状況(市民サービスの向上)

KPI(成果指標)	目標値	達成状況
行政手続きのオンライン化率 年間100件以上の手続きは原則オンライン化 * 法的・技術的に不可能、事務が著しく非効率になるものを除く。	100%	95% (198件/207件) ※令和4年度末までに達成予定
窓口での対応時間の削減 民間のデジタルサービスの活用やキャッシュレス対応により削減	825時間減	836時間減
結ネット等の地域活動発信アプリ導入数(累計) 校下(地区)町会連合会単位	30校下(地区)	28校下(地区)
高齢者向け電子申請講座参加者数(累計)	1,500人	1,655人
市民によるオープンデータ活用件数 画像オープンデータのダウンロード数	2,000件	3,282件
AIチャットボット活用件数(2021年度比較) 年間利用件数 ※104,596件	10,000件増	2,300件増 ※5分野589項目追加

金沢市デジタル戦略の進捗

KPI達成状況(職員の生産性向上)

KPI(成果指標)	目標値	達成状況
コピー用紙使用量 (2019年度比較)	50%減 (600万枚減)	42%減 (520万枚減) ※R5.1月は50%削減
ペーパーレス会議の実施率 実施率70%以上の課(所)の割合	100%	100% (65課) 
テレワーク、BYOD端末の利用回数 (累計)	15,000回	8,405回 ※BYOD R5.1月利用実績 1,318回
最新技術の活用による削減時間	9,700時間	9,773時間 
育成したデジタル推進リーダー数 (累計)	40人	40人 
管理職向けデジタル研修受講者数	100人	92人 ※対象者すべて受講 

金沢市DXアクションプランの策定(本編より抜粋)

取り組みの方向性

Stage 1

デジタルイゼーション

ツールのデジタル化(紙からデータへ)

DXの土壌を醸成

デジタル戦略

電子申請
拡充

ペーパーレス原則
への転換

RPA
AI-OCR
の拡充

シビックテック
促進

キャッシュレス
決済の拡充

オープンデータ
ポータルサイト
の刷新

地域活動の
デジタル化

産学官連携による
デジタル人材育成

デジタル教材
の造成

Stage 2

デジタルイゼーション

個別プロセスのデジタル化(ソフトウェア化)

デジタルの社会浸透

DXアクションプラン

デジタルにより全ての人の利便性向上

- ・マイナンバーカードを活用したサービスの実装
- ・AIやドローンなどデジタル技術の活用
- ・オンラインによるサービスの充実

産業

生産性の向上と価値の創造

- ・Web3.0技術の利活用
- ・金沢MaaSの推進

地域

住民相互の交流と連帯意識の醸成

- ・地域活動の活性化
- ・デジタルデバイドの解消

文化

「文化都市 金沢」を推進

- ・デジタルミュージアムの構築
- ・NFTやメタバースの活用

教育

誰もが学び成長

- ・小中高生へのデジタル技術学習の提供
- ・企業におけるデジタル人材育成の促進

Stage 3

デジタルトランスフォーメーション

全体プロセスのデジタル化(価値創造・ビジネスモデルの変革)

デジタルの社会実装

一人ひとりに寄り添う

- ・必要な人に必要な案内を提供
- ・「行かない市役所」「書かない窓口」を実現

人と人がつながる

- ・デジタルに対するハードルを軽減
- ・人とつながる多様なコミュニティを形成

金沢の魅力が広がる

- ・文化芸術の魅力と裾野を拡大
- ・文化芸術を次世代に継承

まちが持続的に発展する

- ・人口減少下での成長を実現
- ・多様な人との交流を促進

産業

「生産性の向上と価値の創造」

○ Web3.0技術の利活用を進めます

- ✓ 産学官金連携によるWeb3.0技術の社会実装の促進
- ✓ メタバースを活用した金沢の文化や伝統の発信

○ 便利な移動サービスの提供を進めます

- ✓ 金沢Maasによる便利な移動サービスの提供

○ 観光DXを進めます

- ✓ 快適な観光の提供に向けたデータ利活用の検討



地域

「住民相互の交流と連帯意識の醸成」

○ デジタル技術を活用した地域活動の活性化に取り組みます

- ✓ 地域課題解決のための共創プラットフォームの提供
- ✓ 地域団体へのデジタルツール活用講座の開催

○ デジタルデバイドの解消に取り組みます

- ✓ 障害のある方へのデジタルツール利用支援

○ ダイバーシティ・インクルージョンを推進します

- ✓ SNSやオンライン等を活用した多様な相談支援の実施
- ✓ 産学官連携による最新技術を活用した障害のある方へのコミュニケーション支援の検討



文化

「『文化都市 金沢』を推進」

- **デジタルミュージアムを構築します**
 - ✓ デジタルミュージアムによる新たな文化体験の提供
- **Web3.0技術の利活用を進めます**
 - ✓ メタバースを活用した金沢の文化や伝統の発信(再掲)
 - ✓ 文化、芸術、観光分野等へのNFTを活用した魅力向上
- **持続可能な文化運営環境を検討します**
 - ✓ DAOなどのWeb3.0技術を活用した文化運営環境の検討



教育 「誰もが学び成長」

○ 小中高生へのデジタル技術の学習機会を提供します

✓ 金沢IT部活による高度なプログラミング学習の実施



○ 教育分野のビッグデータ利活用を推進します

✓ GIGAスクール端末等の蓄積データ利活用の検討



○ 企業におけるデジタル人材育成を促進します

✓ 企業のデジタル人材育成促進のためのリスキリング推進



行政

「デジタルにより全ての人の利便性向上」

- **マイナンバーカードを活用したサービスの導入に取り組めます**
 - ✓マイナンバーカードを活用したスマートサービスの導入
- **行政サービスのデジタル化を拡大します**
 - ✓オンラインを活用した相談・指導やイベントの実施
 - ✓キャッシュレス決済の拡大
- **データの利活用を推進します**
 - ✓オープンデータの拡充と利活用
- **ドローンやIoT技術等を活用し安全・安心を図ります**
 - ✓ドローンやIoT技術等を活用した防災・減災
 - ✓ARを活用したデジタルハザードマップの導入



金沢市DXアクションプランの推進体制(本編より抜粋)

1.4. プランの期間

令和5(2023)年度から令和7(2025)年度までの3か年とします。
なお、デジタル技術進展の速度に鑑み、毎年、時点修正を行う動的な計画とします。

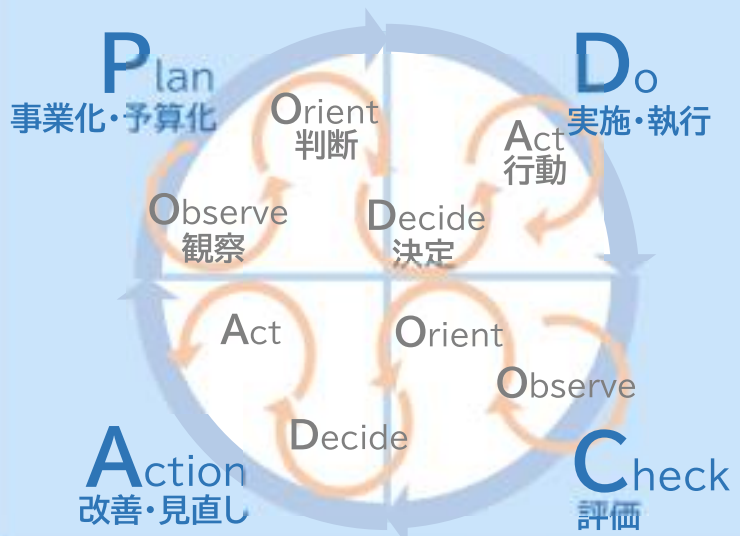
金沢市デジタル戦略

2021
-2022

金沢市DXアクションプラン

PDCAサイクルを基本に、状況に応じ素早く判断して
実行するOODAループを組み合わせ、柔軟に実践

2023
-2025



1.5. 推進体制

外部有識者会議と庁内横断組織によってプランを推進します。

(1) 金沢市DX会議

有識者及び市長で構成する金沢市DX会議を開催し、本市のDX推進に必要な施策等を議論します。

(2) DX推進本部

市長を本部長とする庁内横断組織を設置し、情報共有や施策の横展開を図ります。

金沢市DX会議

- ◆施策提案
- ◆アクションプランの進捗確認

・有識者
・市長

DX推進本部

- ◆アクションプランの推進

・市長
・両副市长
・全局長